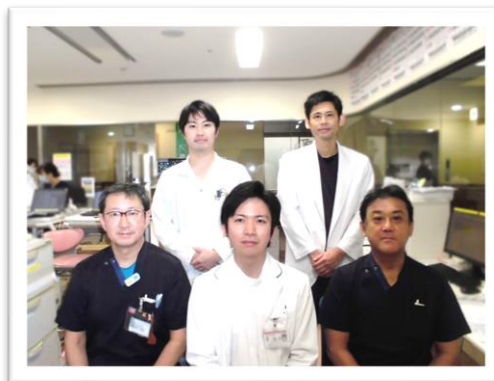


三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 角昂大

はじめまして。私は角昂大と申します。出身は青森県三沢市で、出身高校は三沢高校です。

弘前大学医学部医学科におけるクリニカルワークショップ I では、医学生は学外関連病院の外科に 4 週間配属される事になっています。様々な選択肢の中、私が三沢市立三沢病院を選んだのは、先述の通り、私の出身地が三沢市だからです。私の生まれ育った地元の病院がどのような病院なのか前々から興味がありました。



それに加え、三沢市立三沢病院では手術支援ロボットである「da Vinci」を導入しており、ハイテク技術を駆使した手術が見学できることも私にとって魅力的でした。

実習では主に手術や回診に参加させていただきました。手術では腹腔鏡手術のカメラの操作、開腹時に術野を広げる鉤引き、糸結び、埋没縫合などを経験しました。ロボット支援下の直腸切除術も見学することができ、術中の出血量が少なく、手術創も小さいため患者さんの負担が減るのに加えて、視野を共有しながら手術ができる点は医師側にとってもメリットが大きい手術方法だと感じました。回診では、抜鉤、ドレーン抜去、動脈血採血などをやらせていただきました。これまで見学することしかなかった手技を実践する機会を多く与えてくださり、非常に勉強になりました。

1ヶ月の実習の中で感じたことは、普段から色々と物事を考えながら生活するべきだということです。普段から頭を使ってものを考え、ニュースや新聞、その他の媒体から様々な分野に対する情報視野を広げることで知識や教養を身につけることは、患者様だけではなく、コメディカルの方々ともより良い関係性を築くために必要であると感じました。また、手術や回診中に先生が何気なく行っている手技にも気を配り、手順を把握したり、その手技の意味について考えたりすることで、次に自分が同じような状況にたっても同様の手技を達成できるのだと感じました。

最後になりますが、外科の池永先生、澤野先生、神田先生、松本先生、そして研修医の渡邊先生、長岡先生、海老名先生をはじめ病院スタッフの皆様、担当させて頂いた患者様には大変お世話になりました。三沢市立三沢病院で得た経験を次に活かせるよう精進してまいります。1ヶ月間本当にありがとうございました。

2023.1.10～2023.2.3